

平成26年7月1日

部等名

観光部

件名

平成26年第1四半期の宿泊旅行統計調査結果について（報告）

経緯

平成19年1月 国土交通省が全国統一基準による「宿泊旅行統計調査」を開始

平成26年7月1日、観光庁から平成26年第1四半期（1月から3月）の調査結果を発表

調査方法

観光庁が全国のホテル、旅館、簡易宿所などの宿泊施設に直接調査を実施し、その結果を基に集計を行った。

- 1 調査対象施設 50,802施設（うち山梨県1,314施設）
- 2 調査内容 各都道府県別延べ宿泊者数
各都道府県別外国人延べ宿泊者数
国籍別外国人延べ宿泊者数 等

内容

[平成26年第1四半期 調査結果]

延べ宿泊者数 全国 106,657千人(対前年同期比 102.2%)
 山梨県 1,294千人(対前年同期比 113.0%)
 伸び率 全国第9位

外国人延べ宿泊者数 全国 9,196千人(対前年同期比 137.3%)
 山梨県 176千人(対前年同期比 325.9%)
 伸び率 全国第1位

国籍別外国人延べ宿泊者数（上位5カ国）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
国籍	中国	タイ	台湾	香港	マレーシア
宿泊者数	72,420	34,700	24,570	7,860	5,530
シェア	44.8%	21.5%	15.2%	4.9%	3.4%

従業員数10人以上の施設に対する調査から作成

国籍不詳は除く

【問い合わせ先】

観光企画・ブランド推進課

数野・山崎

直通 055-223-1556

内線 4106・4114

延べ宿泊者数（全体）月別比較

今期は2月の豪雪被害による宿泊者数の激減が懸念されたが、前年同時期と比較して減少した月は2月のみであり、1，3月は前年より伸びているため、1～3月全体としては前年同期比増となった。

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	対前年比	対前々年比
1月	399,950	381,900	335,390	407,920	121.6%	106.8%
2月	417,240	369,430	339,790	314,990	92.7%	85.3%
3月	329,220	541,760	470,480	571,550	121.5%	105.5%
合計	1,146,410	1,293,090	1,145,660	1,294,470	113.0%	100.1%

数字の端数処理の都合上、1～3月の総合計と各月を足し合わせた数字は一致しないことがある。

国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数比較（従業員数10人以上の施設に対する調査から作成）

外国人全体の4割を前年同時期と比較して圧倒的伸びを示した中国が占めている。ほかにもビザが免除されたタイやマレーシアも好調に伸びている。

国籍（出身地）	平成26年1～3月期		平成25年1～3月期		平成24年同期比	平成23年同期比
	延べ人数	割合	延べ人数	同期比		
中国	72,420	44.8%	10,000	724%	195%	304%
タイ	34,700	21.5%	12,250	283%	352%	1201%
台湾	24,570	15.2%	12,220	201%	140%	410%
香港	7,860	4.9%	4,320	182%	198%	286%
マレーシア	5,530	3.4%	2,080	266%	256%	301%
インドネシア	3,710	2.3%	2,990	124%	-	-
ベトナム	2,380	1.5%	-	-	-	-
韓国	1,930	1.2%	1,120	172%	63%	115%
シンガポール	1,800	1.1%	1,530	118%	231%	83%
アメリカ	1,460	0.9%	840	174%	209%	225%
オーストラリア	630	0.4%	390	162%	350%	252%
ドイツ	590	0.4%	580	102%	421%	91%
フィリピン	470	0.3%	-	-	-	-
イギリス	420	0.3%	150	280%	280%	323%
フランス	310	0.2%	170	182%	310%	344%
カナダ	210	0.1%	230	91%	1050%	72%
ロシア	90	0.1%	50	180%	-	56%
インド	50	0.0%	130	38%	56%	-
その他	2,470	1.5%	2,000	124%	39%	71%
合計	161,600	100.0%	51,050	317%	197%	345%

従業員数10人以上の施設に対する調査から作成しているため、本表の合計欄は全体の外国人延べ宿泊者数と一致しない。国籍不詳は除く。

延べ宿泊者数出身地（国内・国外）割合比較

宿泊客の出身地を国内・国外に分けて比較すると、平成26年については外国人の比率が非常に高くなっている。

特に2月については、豪雪被害による国内の宿泊客減少を国外からの宿泊客がカバーしていることが読み取れる。

	県全体				
	延べ宿泊者数 1)	国内		国外	
		延べ人数	割合	延べ人数	割合
平成26年 1～3月	1,294,470	1,103,520	85.2%	175,660	13.6%
1月	407,920	360,530	88.4%	46,190	11.3%
2月	314,990	261,040	82.9%	53,110	16.9%
3月	571,550	481,940	84.3%	76,360	13.4%
平成25年 1～3月	1,145,660	1,060,770	92.6%	53,900	4.7%
1月	335,390	315,470	94.1%	11,610	3.5%
2月	339,790	315,870	93.0%	16,050	4.7%
3月	470,480	429,440	91.3%	26,240	5.6%
平成24年 1～3月	1,293,090	1,157,220	89.5%	88,250	6.8%
1月	381,900	334,830	87.7%	33,040	8.7%
2月	369,430	333,440	90.3%	21,450	5.8%
3月	541,760	488,960	90.3%	33,760	6.2%
平成23年 1～3月	1,146,410	1,078,640	94.1%	57,530	5.0%
1月	399,950	373,840	93.5%	21,850	5.5%
2月	417,240	386,430	92.6%	26,850	6.4%
3月	329,220	318,370	96.7%	8,840	2.7%

1)県全体延べ宿泊者数には居住地不詳を含むため、国内及び国外の数字の合計とは一致しない。

外国人延べ宿泊者数月別比較

平成23年以降のどの年及び月と比較しても、今期の外国人の延べ宿泊者数は最も多い。また、伸び率については、昨年と比較すると1月、一昨年と比較すると2月が大きく伸びを示した。

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	対前年比	対前々年比
1月	21,850	33,040	11,610	46,190	397.8%	139.8%
2月	26,850	21,450	16,050	53,110	330.9%	247.6%
3月	8,840	33,760	26,240	76,360	291.0%	226.2%
合計	57,530	88,250	53,900	175,660	325.9%	199.0%